



神奈川県畜産情報

発行所
 神奈川県畜産会
 横浜市磯子区西町14-3
 畜産センター内
 電話 045(761)4191
 FAX 045(759)1162
 発行人
 志村善一

神奈川県畜産会のホームページ
 「かながわ畜産ひろば」
<http://kanagawa.lin.gr.jp/index.htm>

毎月1回(1日)発行

[神奈川県畜産情報(平成18年1月号以降)はホームページでもご覧になれます]

定価1部10円(1年100円)
 会員の購読料は会費に含む

平成二十五年 県畜産関係当初予算の概要について

神奈川県は平成二十五年当初予算では、神奈川県再生への第一歩を踏み出すため、緊急財政対策に取り組み、財政基盤の確立を図る一方、少子高齢化への対応や県民の安全・安心の確保など「かながわブランドデザイン」に掲げた事業を着実に推進していきます。

また、地域経済のエンジンを回す施策にも大胆に取り組むとともに、国の緊急経済対策に呼応し、二十五年当初予算と補正予算を一体とした「十四ヶ月予算」として編成しました。

畜産関係の当初予算については、飼料価格の高止まりや畜産物価格の低迷等による厳しい畜産経営を支援するため、引き続き自給飼料増産対策及びかながわ産牛肉地産地消推進事業を推進するほか、和牛ブランド存続のため、素牛価格の高騰で危機的状況に陥っている和牛肥育経営に対し、優良系統の素牛導入に緊急的支援を実施します。

また、安全・安心な畜産物のため農場 HACCP 認定制度の普及推進や、家畜伝染病の万一の発生に備え、危機管理対策に取り組めます。

予算規模は四億二、二二三万円であり、以下に施策分野ごとに整理した主な事業等を紹介します。

- 一 畜産技術振興関係 一、七三三万円

畜産経営の健全な発展と畜産物の安定供給を図るため、先進的技術を活用した高品質・低コスト生産等による経営体質の強化推進、消費者の畜産に対する理解醸成と畜産物の消費拡大を図るための各種事業を実施します。
- 二 畜産飼料対策関係 三、二九〇万円

安全な畜産物の生産を図るため、飼料の適正使用に対する指導、立入検査、成分分析を実施するとともに、自給飼料増産を図るため、本県での生産に適した奨励品種の選定や受委託組織による飼料生産体制の確立を推進するほか、配合飼料価格安定対策事業に助成を行います。
- 三 生乳流通改善調整事業関係 五、〇一二万円

生乳の計画生産と流通の合理化、新鮮な良質生乳生産のために乳質改善等の推進や加工原料乳生産者補給金等暫定措置法に基づく生乳の用途別取引数量の確認を行います。また、酪農経営の安定に取り組み酪農団体を支援します。
- 四 食肉鶏卵流通改善事業関係 一、六〇、三三三万円

県民に新鮮で安全な食肉を安定的に供給する神奈川県食肉センターの整備に要する借入金資金の償還を支援します。また、養鶏経営安定のため鶏卵の価格安定制度を支援します。
- 五 酪農肉用牛対策関係 二、二一、五四四万円

和牛肥育生産者が素牛を導入する費用の一部を無利子・無担保で緊急的に融資するほか、県民に安全で安心な牛肉を安定的に供給するため、酪農家と肉用農家が連携した「かながわ産牛肉」の生産体制の構築や事業のPRにより、地産地消を推進します。
- 六 畜産経営環境整備事業関係 三、七五八万円

畜産経営に起因する環境問題の発生防止のため、総合的な調整・指導を行います。また、畜産経営環境の改善に必要な機械・車両等の畜産環境機械リースに助成します。
- 七 大野山乳牛育成牧場関係 四、四、六七五万円

本県は子牛の育成条件に恵まれていないため、放牧育成を実施して優良後継牛を確保します。また、草地や飼養施設等の維持管理及び復旧工事を行うほか、県民が体験できる「交流活動」に取り組み、畜産業、自然環境及び地元産業と県民との交流を図ります。
- 八 家畜改良事業関係 三、五四八万円

優秀な能力を持った種畜を確保し、家畜の改良を推進する事業を実施します。
- 九 養豚対策関係 一、三、八八八万円

系統豚の維持やその系統豚を活用した銘柄豚の普及推進を図ります。また養豚経営の安定を図る豚肉の価格安定制度を支援します。
- 十 BSE特別対策事業 八、八五〇万円

BSEの発生とまん延を防止するため、牛海綿状脳症対策特別措置法に基づき24か月齢以上の死亡牛全頭を検査するほか、飼料の製造から使用の各段階における安全性の確保を推進します。
- 十一 未利用資源畜産飼料化関係 一、七八六万円

畜産物の生産コストの低減と有機性資源(バイオマス)の利活用を推進するため、食品残渣・排出物・受入側のマッチングや、飼料化技術の研究開発を行います。
- 十二 牛群能力向上関係 八、八八八万円

県民への牛乳の安定供給と酪農経営の安定化を図るため、受胎卵移植技術の活用、雌雄産み分け技術の現地実証による実用化、及び牛群検定に基づく選抜淘汰による乳用牛の改良増殖を推進します。
- 十三 家畜保健衛生関係 五、七、三三三万円

家畜伝染病の発生予防・まん延防止・豚オースキー病ワクチン接種経費への助成等、効果的な防疫体制を推進します。また、農場 HACCP 計画認定制度の推進や動物用医薬品の適正使用を指導

新マルキン事業

「第1業務対象年間の終了と第2業務対象年間の実施について」
 新マルキン事業につきまして、平成二十五年三月をもって第1業務対象年間の終了し、第2業務対象年(平成二十五年四月以降、平成二十八年三月三十一日まで)の間における継続実施をいたします。新マルキン事業への契約をご希望の方は、別途送付される申込書に必要事項をご記入の上、五月末までに本会に送付していただきます。契約希望の申込みをいただいた方から肥育牛補填金交付契約の締結を行います。なお、契約希望申込みをいただいた場合においても、契約の要件等を満たしていないことにより受け付けできないこともありますので、ご了承ください。

「平成二十五年における生産者積立金単価について」
 新マルキン事業に係る肥育牛一頭当たりの生産者積立金単価は毎年見直しされます。

◎平成二十五年四月二十三日(経営指導部 倉迫)

「平成二十四年度第4四半期(二十五年一～三月)の指定肉用子牛の品種区分ごとの平均売買価格は次のとおりでした。」

●黒毛和種	452,700円
●交雑種	241,200円
●乳用種	105,400円

乳用種は保証基準価格(116,000円)を下回りましたので、その差額、10,600円の生産者補給金が交付されることになりました。

黒毛和種・交雑種は保証基準価格、合理化目標価格を共に上回っているため、生産者補給金の交付はありません。

なお、肉用牛繁殖経営支援事業に関しては、「黒毛和種」について、交付はありません。

(社団法人神奈川県肉用子牛価格安定基金協会)

「かながわの畜産に携わる女性ネットワーク会員募集」
 平成十八年十一月十九日に設立された女性ネットワークでは、広く県内の畜産に携わる女性の会員を募集しています。

会では、①情報交換・情報の提供、②技術・経営研修会、③優良事例・関係機関等の視察、④行政・関係団体等との意見交換会等年間行事として実施しております。

これらの活動を通して個々の資質の向上を図り、経営の安定化に繋げ、神奈川の畜産をより立てていくこととしています。

会費は、年間五千元とし、家族で加入された場合でも一家族五千元としています。

都市畜産の安定経営の維持・振興には、女性のきめ細かい視点での経営が今まで以上に重要になってきています。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

(総務部)

黒田節から鯉節値上げ 白川夜船か? TPP

白川夜船か? TPP
 粋な侍 木に駒繫ぐ
 駒が勇めば 花が散る
 気候不順な今年の春は三月の下旬に桜が咲き、あまりぱっとしないうちに散ってしまいました。駒が勇んでも花吹雪になるだけの花が咲きませんでしたね。花見酒を何時やるか、もう少し暖かくなったら...と考えているうちに桜は散り、つじが咲き出し、これも五月の連休明けには終わりでしょうか。暑い春だったり、寒い春だったり、冬物を仕舞ったり、また出したり、オンザロックの焼酎を飲んだ次の日は熱燗の酒、と季節の定まらない日々です。つまみも昨日は冷奴、今日は湯豆腐。冷奴にささみ葱と鯉節をのせて、そして新聞を開いて見たらビックリ。鯉節が三〇%も値上がりだっ！

新むらすずめ

ほうれん草のおひたしに、竹の子に、ふきの上にはらりと載せる鯉節が値上がりとは何ぞ? 日銀総裁の黒田東彦氏が春のお持て成しで円安をやってくれたので、燃料が高止まりの結果だそう、古典落語に「風が吹くと桶屋がもうかる」話がありますが、日銀総裁が白川から黒田に変わったら酒のつまみが値上がりした。目を白黒しています。我々が歌った昔の黒田節は「酒は飲み飲め...だったけど日銀の黒田節は「札は刷れ刷れ...と歌って鯉節なしの竹の子やふきを食べるようになった」よ。デフレ脱却のための①金融政策、②助成政策で鯉節が値上がりしたが、次の③成長戦略で今働

「かながわの畜産に携わる女性ネットワーク会員募集」
 平成十八年十一月十九日に設立された女性ネットワークでは、広く県内の畜産に携わる女性の会員を募集しています。

会では、①情報交換・情報の提供、②技術・経営研修会、③優良事例・関係機関等の視察、④行政・関係団体等との意見交換会等年間行事として実施しております。

これらの活動を通して個々の資質の向上を図り、経営の安定化に繋げ、神奈川の畜産をより立てていくこととしています。

会費は、年間五千元とし、家族で加入された場合でも一家族五千元としています。

都市畜産の安定経営の維持・振興には、女性のきめ細かい視点での経営が今まで以上に重要になってきています。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

(総務部)

「平成二十四年度第4四半期(二十五年一～三月)の指定肉用子牛の品種区分ごとの平均売買価格は次のとおりでした。」

●黒毛和種	452,700円
●交雑種	241,200円
●乳用種	105,400円

乳用種は保証基準価格(116,000円)を下回りましたので、その差額、10,600円の生産者補給金が交付されることになりました。

黒毛和種・交雑種は保証基準価格、合理化目標価格を共に上回っているため、生産者補給金の交付はありません。

なお、肉用牛繁殖経営支援事業に関しては、「黒毛和種」について、交付はありません。

(社団法人神奈川県肉用子牛価格安定基金協会)

「平成二十五年における生産者積立金単価について」
 新マルキン事業に係る肥育牛一頭当たりの生産者積立金単価は毎年見直しされます。

◎平成二十五年四月二十三日(経営指導部 倉迫)

「平成二十四年度第4四半期(二十五年一～三月)の指定肉用子牛の品種区分ごとの平均売買価格は次のとおりでした。」

●黒毛和種	452,700円
●交雑種	241,200円
●乳用種	105,400円

乳用種は保証基準価格(116,000円)を下回りましたので、その差額、10,600円の生産者補給金が交付されることになりました。

黒毛和種・交雑種は保証基準価格、合理化目標価格を共に上回っているため、生産者補給金の交付はありません。

なお、肉用牛繁殖経営支援事業に関しては、「黒毛和種」について、交付はありません。

(社団法人神奈川県肉用子牛価格安定基金協会)

「かながわの畜産に携わる女性ネットワーク会員募集」
 平成十八年十一月十九日に設立された女性ネットワークでは、広く県内の畜産に携わる女性の会員を募集しています。

会では、①情報交換・情報の提供、②技術・経営研修会、③優良事例・関係機関等の視察、④行政・関係団体等との意見交換会等年間行事として実施しております。

これらの活動を通して個々の資質の向上を図り、経営の安定化に繋げ、神奈川の畜産をより立てていくこととしています。

会費は、年間五千元とし、家族で加入された場合でも一家族五千元としています。

都市畜産の安定経営の維持・振興には、女性のきめ細かい視点での経営が今まで以上に重要になってきています。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

(総務部)

「平成二十四年度第4四半期(二十五年一～三月)の指定肉用子牛の品種区分ごとの平均売買価格は次のとおりでした。」

●黒毛和種	452,700円
●交雑種	241,200円
●乳用種	105,400円

乳用種は保証基準価格(116,000円)を下回りましたので、その差額、10,600円の生産者補給金が交付されることになりました。

黒毛和種・交雑種は保証基準価格、合理化目標価格を共に上回っているため、生産者補給金の交付はありません。

なお、肉用牛繁殖経営支援事業に関しては、「黒毛和種」について、交付はありません。

(社団法人神奈川県肉用子牛価格安定基金協会)

「平成二十五年における生産者積立金単価について」
 新マルキン事業に係る肥育牛一頭当たりの生産者積立金単価は毎年見直しされます。

◎平成二十五年四月二十三日(経営指導部 倉迫)

「かながわの畜産に携わる女性ネットワーク会員募集」
 平成十八年十一月十九日に設立された女性ネットワークでは、広く県内の畜産に携わる女性の会員を募集しています。

会では、①情報交換・情報の提供、②技術・経営研修会、③優良事例・関係機関等の視察、④行政・関係団体等との意見交換会等年間行事として実施しております。

これらの活動を通して個々の資質の向上を図り、経営の安定化に繋げ、神奈川の畜産をより立てていくこととしています。

会費は、年間五千元とし、家族で加入された場合でも一家族五千元としています。

都市畜産の安定経営の維持・振興には、女性のきめ細かい視点での経営が今まで以上に重要になってきています。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

(総務部)

「かながわの畜産に携わる女性ネットワーク会員募集」
 平成十八年十一月十九日に設立された女性ネットワークでは、広く県内の畜産に携わる女性の会員を募集しています。

会では、①情報交換・情報の提供、②技術・経営研修会、③優良事例・関係機関等の視察、④行政・関係団体等との意見交換会等年間行事として実施しております。

これらの活動を通して個々の資質の向上を図り、経営の安定化に繋げ、神奈川の畜産をより立てていくこととしています。

会費は、年間五千元とし、家族で加入された場合でも一家族五千元としています。

都市畜産の安定経営の維持・振興には、女性のきめ細かい視点での経営が今まで以上に重要になってきています。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

(総務部)

地方競馬の収益金は畜産振興に役立っています。

川崎競馬開催日

25年5月20日(月)～24日(金) ナイター開催
 6月10日(月)～14日(金)

「かながわの畜産に携わる女性ネットワーク会員募集」
 平成十八年十一月十九日に設立された女性ネットワークでは、広く県内の畜産に携わる女性の会員を募集しています。

会では、①情報交換・情報の提供、②技術・経営研修会、③優良事例・関係機関等の視察、④行政・関係団体等との意見交換会等年間行事として実施しております。

これらの活動を通して個々の資質の向上を図り、経営の安定化に繋げ、神奈川の畜産をより立てていくこととしています。

会費は、年間五千元とし、家族で加入された場合でも一家族五千元としています。

都市畜産の安定経営の維持・振興には、女性のきめ細かい視点での経営が今まで以上に重要になってきています。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

(総務部)

「かながわの畜産に携わる女性ネットワーク会員募集」
 平成十八年十一月十九日に設立された女性ネットワークでは、広く県内の畜産に携わる女性の会員を募集しています。

会では、①情報交換・情報の提供、②技術・経営研修会、③優良事例・関係機関等の視察、④行政・関係団体等との意見交換会等年間行事として実施しております。

これらの活動を通して個々の資質の向上を図り、経営の安定化に繋げ、神奈川の畜産をより立てていくこととしています。

会費は、年間五千元とし、家族で加入された場合でも一家族五千元としています。

都市畜産の安定経営の維持・振興には、女性のきめ細かい視点での経営が今まで以上に重要になってきています。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

(総務部)

「かながわの畜産に携わる女性ネットワーク会員募集」
 平成十八年十一月十九日に設立された女性ネットワークでは、広く県内の畜産に携わる女性の会員を募集しています。

会では、①情報交換・情報の提供、②技術・経営研修会、③優良事例・関係機関等の視察、④行政・関係団体等との意見交換会等年間行事として実施しております。

これらの活動を通して個々の資質の向上を図り、経営の安定化に繋げ、神奈川の畜産をより立てていくこととしています。

会費は、年間五千元とし、家族で加入された場合でも一家族五千元としています。

都市畜産の安定経営の維持・振興には、女性のきめ細かい視点での経営が今まで以上に重要になってきています。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

(総務部)

研究情報

採卵鶏の育成期からの飼料用粉米 給与による産卵性等への影響

世界的に穀物需給が逼迫している昨今、トウモロコシ等の輸入飼料を国産米で代替することは飼料自給率の向上につながる...

しかし、既存の報告では採卵鶏の育成期からの飼料用粉米について、育成期からの利用性についてあまり検討されていません。

なお、粉米の配合割合の検討では、表3の①③、⑦を試験区とし、粉米の給与開始時期の検討では、表3の②、④⑦を試験区として、それぞれ産卵性を比較しました。

●粉米の配合割合の検討(表4) 飼料中の主原料であるトウモロコシについて、粉米の配合割合を十%、三十%および六十%とした...

●粉米の給与開始時期の検討(表4) 初生期から育成期まで給与開始時期を遅くして粉米三十%を配合した飼料を給与すると、育成中期から給与開始した区では対照区より産卵率が低い値であった(図1)。

高まっていたことが考えられました。なお、卵黄色は粉米の配合割合が高いほど薄くなりました。これは粉米にはトウモロコシに多く含まれるキサントフィルがほとんど含まれていないことによるもの...

給与により筋胃が大きくなり胃酸がより多く分泌され、消化能力が

Table 1: 試験飼料の配合割合 (育成中・後期用配合飼料、成鶏用配合飼料) 単位(%). Columns: 育成中・後期用 (対照, 粉米10%, 粉米30%, 粉米60%), 成鶏用 (対照, 粉米10%, 粉米30%, 粉米60%). Rows: トウモロコシ, モミ, 大豆, ナタネ, コーン, 魚粉, 塩酸L-リジン, DL-メチオニン, 植物性油脂, 炭酸カルシウム, 食塩(上質塩), 第三リン酸カルシウム, コリン, プレミックス.

Table 2: 一般成分値 (設計値: 育成中・後期用配合飼料、成鶏用配合飼料). Columns: 育成中・後期用 (対照, 粉米10%, 粉米30%, 粉米60%, 要求量※1), 成鶏用 (対照, 粉米10%, 粉米30%, 粉米60%, 要求量※2). Rows: 水分, 粗タンパク質, 粗脂肪, 粗繊維, 粗灰分, カルシウム, リン, (アミノ酸)%, リジン, メチオニン, トリプトファン, ME (Mcal/kg).

Table 3: 試験区分. Columns: 試験区 (0-20日齢, 21日齢-, 70日齢-, 126日齢-). Rows: ①粉米10%区, ②粉米30%区, ③粉米60%区, ④育成中期開始区, ⑤育成後期開始区, ⑥成鶏期開始区, ⑦対照区.

Table 4: 産卵性等. Columns: 配合割合の検討 (⑦対照, ①粉米10%, ②粉米30%, ③粉米60%), 給与開始時期の検討 (⑦対照, ②初生開始, ④中期開始, ⑤後期開始, ⑥成鶏期開始). Rows: 育成成績 (0-19週齢), 50%産卵到達日齢, 産卵性 (成鶏期(20-67週齢)), 卵質(45-60週齢時)の平均値.

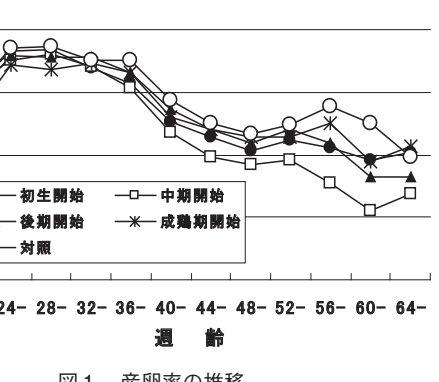


図1 産卵率の推移

Table 5: 解剖検査 (17週齢時). Columns: ⑦対照, 粉米10% (①初生開始, ③初生開始), 粉米30% (②初生開始, ④中期開始, ⑤後期開始). Rows: 体重g, 消化管長さcm/体重g(%), 筋胃重量g, 筋胃重量g/体重g(%), 筋胃内容物pH.

※同一項目内において異符号間に有意差あり (P<0.05)

家保だより

当所では、食品残さ等の本県の飼料を育成中期からの給与開始する場合には注意が必要と思われる...

アカバネ病を予防しましょう せっかく、アバノミクスはすこいですね。株価は上がるわ、1ドル100円も目前になるわ、日本経済復活も視野に入ってる...

しかし、季節は冬が終わり、暖かい春を迎え、そしてあつという間に暑い季節がやってきます。この時期、牛飼養農家の皆さんが注意しなければならぬ伝染病にアカバネ病があります。

また、近年では生後感染による脳脊髄炎も問題となつています。感染は暑い時期に起こり、死産率は夏から秋にかけて起ります。

また、近年では生後感染による脳脊髄炎も問題となつています。感染は暑い時期に起こり、死産率は夏から秋にかけて起ります。

また、近年では生後感染による脳脊髄炎も問題となつています。感染は暑い時期に起こり、死産率は夏から秋にかけて起ります。

また、近年では生後感染による脳脊髄炎も問題となつています。感染は暑い時期に起こり、死産率は夏から秋にかけて起ります。

また、近年では生後感染による脳脊髄炎も問題となつています。感染は暑い時期に起こり、死産率は夏から秋にかけて起ります。

また、近年では生後感染による脳脊髄炎も問題となつています。感染は暑い時期に起こり、死産率は夏から秋にかけて起ります。

また、近年では生後感染による脳脊髄炎も問題となつています。感染は暑い時期に起こり、死産率は夏から秋にかけて起ります。

また、近年では生後感染による脳脊髄炎も問題となつています。感染は暑い時期に起こり、死産率は夏から秋にかけて起ります。

また、近年では生後感染による脳脊髄炎も問題となつています。感染は暑い時期に起こり、死産率は夏から秋にかけて起ります。

また、近年では生後感染による脳脊髄炎も問題となつています。感染は暑い時期に起こり、死産率は夏から秋にかけて起ります。

また、近年では生後感染による脳脊髄炎も問題となつています。感染は暑い時期に起こり、死産率は夏から秋にかけて起ります。

また、近年では生後感染による脳脊髄炎も問題となつています。感染は暑い時期に起こり、死産率は夏から秋にかけて起ります。

また、近年では生後感染による脳脊髄炎も問題となつています。感染は暑い時期に起こり、死産率は夏から秋にかけて起ります。

大野山たより

県の緊急財政対策により廃止を含めた検討の対象となっている牧場ですが、責任を持って人工授精を行い妊娠させて生産者へ戻す期間を考慮した結果、これで最終と

なるかもしれませんが、例年通り県内の優良後継牛四十一頭を四月二日に、後日追加で四頭、計四十五頭を受け入れました。酪農家の方々には、応援メッセージを込め預けていただいたことに改めて感謝申し上げます。県酪連のご協力も得ながら、酪農振興の大きな支えとして精一杯がんばりますので、皆様のご声援をよろしくお願いたします。

このちび牛(子供)達も、畜舎飼いでいいよ四月末に、慣らし放牧へと移行しました。大きな病気を発症する子供達も無く、ここまでは順調に集団生活にも慣れ育っています。これからいろいろ訓練が待ち受けていますが、ひとつひとつ乗り越えて、大きく成長していくものと思われまふ。九月までは少なくとも放牧地に放されていきますので、時間が空いたときにはぜひ見に来ていただけたらと思います。

平成二十四年度に受託した六十四頭については、妊娠鑑定済みが三十一頭、人工授精済みで妊娠未確認が二十八頭、未授精が五頭と、まずまずの成績となっております。早く全頭受胎の報告を皆様へお伝えできるようがんばりたいと思います。

さて、四月二十九日は恒例の神山さんが安全登山折願等を行う山北町観光協会主催の「大野山開き」が行われました。天候にも恵まれ、大勢のハイカー等が訪れ、地元産物の即売・牛乳の無料配布なども行われ長蛇の列ができていました。併せて畜産課の主催で畜産交流教室をまきば館で、畜産課職員及び米持先輩がバター作りの実演を行いました。大勢の家族連れが訪れ、自分で作ったバターに満足し、美味しいと評判でした。子供達には牛乳のかかわりで畜産を少しでも理解していただけたものと思われまふ。

五月は、日に日に緑が濃くなり、あちこちで山菜が芽吹き採草地や放牧地の草もどんどん伸びて牧歌の景色が満喫できる時期となります。ぜひおいしい空気を吸いにちよっと足をのばしてみませんか。場員一同お待ちしております。

(大野山乳牛育成牧場長 原田俊彦)